

漁海況情報

平成 25 年 11 月 12 日 第 12 号(通巻 531 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク ホームページ】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【サワラ情報】

来漁期（平成 26 年 1～4 月）のサワラ（尾叉長 60～70cm のサワラ銘柄）の来遊量は今漁期（平成 25 年 1～4 月）をやや下回る見込み

サワラは平成 10 年頃から日本海で急激に増加した資源で、9 月に東シナ海から 35～45cm の 0 歳魚（サゴシ銘柄）で来遊し、1 歳までは日本海内に留まり、5～6 月の産卵前に東シナ海に戻ると想定されています。

平成 25 年度資源評価票（ダイジェスト版、水産庁）によると、サワラ東シナ海系群の資源は前年の中水準から高水準に転じたと判断されていますが、日本海のサワラの漁獲量（サゴシ銘柄主体）は平成 19 年をピークとしてその後減少傾向にあります。

山口県代表市場でも平成 18 年以降 9～10 月のサゴシ銘柄の漁獲量は減少傾向にあり、本年も前年をやや上回ったものの低水準でした（図 1）。一方、1～4 月に漁獲される大型のサワラ（尾叉長 60～70cm のサワラ銘柄、1 歳魚主体）は、日本海の中・西部から東シナ海で産卵するために南下してくる群で、このサワラ銘柄の漁獲量は、サゴシ銘柄のようには減少していません（図 2）。これは大型のサワラを狙った着業者の増加およびサワラ釣り漁具・漁法の改良が影響していると考えられます。

来漁期（平成 26 年 1～4 月）のサワラ（尾叉長 60～70cm のサワラ銘柄）の来遊量については、日本海のサワラの漁獲量が減少傾向にあることから、今漁期（平成 25 年 1～4 月）をやや下回ると予想されます。

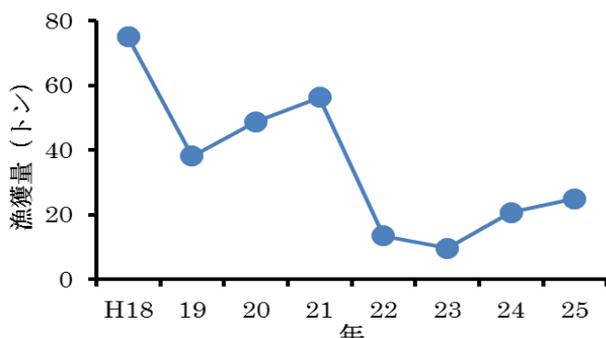


図 1 代表市場における 9～10 月のサゴシ銘柄の漁獲量の経年変化。

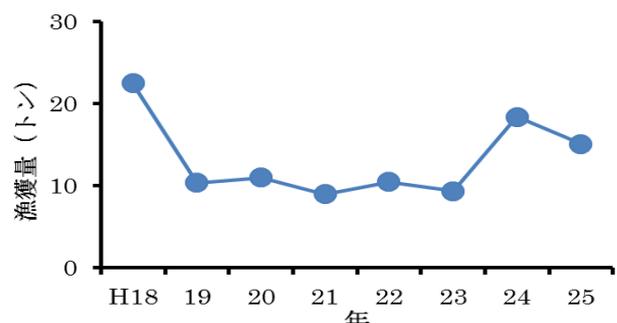


図 2 代表市場における 1～4 月のサワラ銘柄の漁獲量の経年変化。